

日本財団福祉車両整備事業により 軽自動車配備

『公の心』と『民の視点』で助成事業に取り組んでいる日本財団に援助いただいたて、軽自動車（ホンダN・Box）を配備することができました。パンザイした色とりどりのかわいい顔がいくつも描かれた楽しい外観に、駐車場が明るくなったような気がします。

地元の志呂神社で交通安全祈願をして、ご利用者様2名と一緒にたけべの森へ桜の開花具合を確認に行きました。

「乗り心地はどうですか？」と尋ねると、「ええなあ」とこやかに返事が返ってきました。

これからは、買い物やドライブなど利用者様の希望を取り入れた外出支援を行っていかれたらと思います。



ご利用者様に昔の事を聞いてみました



國本 尚さん



國本尚さんは町内で洋品店を営まれていました。30代の頃にお父様から店を任されたそうです。子供の頃から衣類には慣れ親しんでいたのも、衣類の種類や特長は頭の中に入っていたそうです。また、早くから家業を継ぐ覚悟はできていたので、特に苦労はなかったと余裕の表情です。

近所に衣類も扱うスーパーが出来てからは、店舗でじっとしていても売れないので、移動販売車で町内は基より近隣の町村まで売りに出かけたとのこと。特に高齢者が多く車を持たない山間部の方面に出かける時は、その時の気候に合わせて、好みそうな物を選んで出して出かけ、「こんなのが欲しかった」と大変喜んでもらえたそうです。

「色々な所へ販売に出かけたので、多くの知り合いが出来たことがこの仕事をやってよかったことかな」と当時を懐かしそうに思い出しながら語ってくださいました。

旭水荘辞令交付式

平成29年度は、新卒者2名を迎えることができ、喜びとともに心新たにスタートしました。昨年12月から3月までの間に、4名を中途採用しており、新人職員は合わせて6名となります。

ご利用者様はもちろん、職員にも魅力ある旭水荘であり続けなければと、襟を正した辞令交付式でした。



今日この頃

少し長めの休暇を頂き、九州地方を旅してきました。熊本地震から一年が経過しましたが、未だ避難生活が続いている方々、復旧が進んでいない所など、あまり報道されなくなっ忘れてがちだったことを思い起こさせられました。

タクシードライバーの方からの「どんどん旅行に来て欲しい。私も元気がもたらえる」との言葉が印象に残りました。微力ながら復興への力添えになれたのではと思う今日この頃です。